

慶應義塾創立150年記念展 「福澤諭吉 適塾入塾150年」パネル展

10:00 ~ 16:00

今年は福澤先生が大阪の緒方洪庵の「適塾」に入塾してから150年目にあたります。先生は2年後には適塾で塾長となり、3年後の安政5年、江戸の築地鉄砲洲に慶應義塾の礎となる蘭学塾を開くことになります。

今回のパネル展では、大阪における若き福澤先生の適塾時代、男ばかりの粗野な生活のなか、仲間と共に切磋琢磨した「青春の軌跡」を、現役慶大生(福澤先生研究会)の大阪現地取材により展示しています。また大阪は福澤先生生誕の地でもあり(大阪玉江橋北詰中津藩蔵屋敷に生まれる)現在も跡地には「福澤誕生地記念碑」が建っています。

(協力:大阪慶應倶楽部)



慶應義塾創立150年記念事業関連コーナー

10:00 ~ 16:00

慶應義塾では2008年に創立150年を迎えるのを機会に、さまざまな記念事業が計画されつつあります。その事業の基本テーマは、「未来への先導」。嬉しいことに、今大会のテーマとも連動感あるものとなりました。

2008年の1年間だけでなく、記念事業自体は、この年をはさむ前後10年程度の期間をかけて展開される予定です。名実ともに21世紀社会のフロンティアに立つ学塾となるために、教育・研究・社会貢献の質を国際的なレベルまで高めるようなプロジェクトが、次々と実現していくことでしょう。150年の歴史を踏まえ、次の新たな150年へと歩み出すために——。記念事業の輝かしい成功に向けて、塾員の立場からも一致団結して応援していきましょう!



創立150年記念ロゴマークが決定しました

三田会会員バンド ライブコンサート

10:30 ~ 15:30

昨年、大好評だった三田会会員バンドの演奏で、今年も盛り上がっていただきます。

慶應義塾タンゴアンサンブル三田会

戦後直ちに産声をあげたタンゴアンサンブルは、大学公認のタンゴバンドとして大学対抗バンド合戦で3年連続1位の栄冠を勝ちとる一方、プロと一緒に活動。先輩としては、故フランク・堺氏もドラムスで加わり、タンゴだけでなく、ラテン・ブルースなども演奏します。

本日はアルゼンチンタンゴだけでなくコンチネンタルタンゴや、ワルツ、ラテンも加えて、生バンドでの醍醐味を存分に堪能していただきます。



慶應義塾ワグネル・ソサィエティー 男声合唱団三田会

ワグネル・ソサィエティーは学生音楽団体として100年を超える歴史とクラシック音楽分野での幅広い活動実績を誇っています。その男声合唱団のOBで組織されたOB合唱団は、常時60名を超える参加者を得て現役に負けず活発な演奏活動を展開しています。男声合唱の心地よく迫力あるハーモニーをお楽しみください。



ハワイアン三田会(シルバーレイ)

ハワイアン三田会は今年で満20年を迎えます。本日は結成17年目を迎えた代表バンド、シルバーレイが出演。昨年は「シルバーレイ 15年目の夏...ただいま青春まっさかり」のタイトルでDVDを編集いたしました。年齢を忘れ、元気一杯の演奏をお楽しみください。



慶應義塾KBR三田会 (ザ・カルア K'sカンパニー)

KBRザ・カルアはハワイアンバンドを起点としてハワイアンモダンコーラスからジャズコーラス+コンボへと変遷をとげてきました。学生バンド全盛期には三田会コンサートやダンスパーティーで活躍。昭和47年にはレコードを出すなど、常に学生界のトップバンドとして活動。本日は'66-74卒業のOBによるモダンコーラスサウンドをお楽しみいただきます。



※日吉会堂に出演の慶應義塾KBR三田会(ハワイアン・モダン・シャックス、KBRタンゴアンサンブル)は来往舎でも出演します。